

第31回 日本死の臨床研究会 年次大会 <http://jard31.umin.ne.jp>

大会テーマ

心の声を聴く

2007年 11月10日(土)~11日(日)

熊本県立劇場

熊本市大江2丁目7-1 ☎096-363-2233

■大会長 井田 栄一
熊本ホームケアクリニック 院長

尾山タカ子
元熊本大学医学部保健学科 助教授

“まず、ゆっくり話を聞いてもらう。これだけで安心します。” 訪問看護で出会う患者さんそしてご家族の多くが口にされる言葉です。日々、患者さんの声にゆっくりと耳を傾けているか？心を受け止めているのか？？ それをしっかりと見つめ直す機会にしたいと思います。

訪問看護師

死の臨床にあり、“いのち”と向き合っている患者さんが残された日々を穏やかに心豊かに過ごされるようにと真摯に取り組んでいる医師、看護師、心理療法士、宗教家、社会学者などの参加によるこの研究会は「すごい!」と思いました。

H 県立看護大学 教員

発表や事例を聞いて、人生の終焉を迎え、悲しみにある患者さんとそのご家族に寄り添い、深い悲嘆の傷を癒す時間を共有することは、看護する私たち自身が患者さんから多くのことを学ぶ機会でもあり、愛や死、人生の意味を問い直す貴重な体験となると思いました。

S 大学病院 看護師

とどいていきますか？

大切なメッセージ

肺がんの疑いから7ヶ月…。8 mmと小さいため「様子を見ましょう」という医師の言葉で、私は不安と恐怖の日々に陥ってしまいました。「自分の病気はどうなるのか、はっきりして欲しい」というワラにもすがる思いがあります。自分自身の病気に対して、充分知りたいというのは本人にとっては自然な気持ちです。患者のそんな思いに耳を傾ける医療であってほしい。ある患者さんの話から

事例検討は、一つの事例に基づいて発表者とフロアーの参加者が意見を交換して、患者さんにとってどうあったらいいのかということをしつくり考えることができたいへん勉強になりました。一般の学会にはない、とてもよい企画だと思います。

C 共済組合病院 看護師

医師として診療現場での態度や言葉が、「死の臨床研究会」に参加して変わってきました。全人的な医療に向き合う臨床医と、自然に知りあえる雰囲気がこの研究会にはあります。私はこれからの医療をこなす医師を育てるためにも、臨床研修医師に出席を呼びかけたいと思っています。

K 診療所 医師

■一般参加費(非会員)

9,000円 (抄録集を含む)

会員参加費 **7,000**円

学生参加費 **3,000**円 (抄録集を含む)

※大学院生は一般扱いといたします。

年次大会ホームページの「事前参加登録」

申込ボタンより登録を行って下さい。

参加登録申し込み後、ご登録いただいたメールアドレス宛に参加登録内容の確認メールが届きます。登録後、年次大会事務局よりお申込みの詳細と郵便払込票を送付します。お近くの郵便窓口にて払込みください。

<http://jard31.umin.ne.jp>

■ 申込み期間 6月1日(金)~9月25日(日)

■ 申込者には事前に参加証と抄録集をお送りいたします。

■ 当日参加受付もできます。

■ 懇親会参加費 一般 4,000円 (学生 3,000円)
懇親会は10日(土)、県立劇場内ホワイエにて開催

■ お弁当 【1日目・2日目】各1,000円 (お茶付き)
会場周辺には十分な昼食施設がございません。
お弁当をお申し込みされることをおすすめいたします。

実行委員長 田中紀美子 熊本大学医学部保健学科

大会事務局 学会サポートセンターくまもと

〒862-0950 熊本県熊本市水前寺4丁目39-11/株式会社セカンド内

☎096-382-7796 FAX 096-386-2025